

八尾市総合計画審議会 第1回総合戦略部会
議事録

日 時：令和5年12月15日（金）19時40分～20時45分

場 所：八尾市役所本館 6階 大会議室

出席者：和泉委員（Web参加）、和田委員、黒木委員、松本委員、吉田委員、伊藤委員、上木委員、久保委員、鈴木委員、高島委員、野村委員、古河委員、坂口委員、高須委員

事務局（関係課含む）

欠席者：川野委員

1. 開会

事務局

ただいまより、八尾市総合計画審議会第1回総合戦略部会を開催いたします。

まず、会議の公開についてですが、先ほどの全体会にてご了承をいただきましたが、本部会においても同審議会の中の専門部会であることから、会議、会議資料、会議録について公開とし、また会議録作成事務の都合上、録音させていただきたいと考えておりますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2. 副部会長の選任

事務局

それでは、次第の2副部会長の選任に移りますが、ここからは、進行を和田部会長にお願いしたいと思います。

和田部会長、お願いします。

和田部会長

それでは、次第に沿いまして、まずは総合戦略部会の副部会長を指名したいと思います。先ほどの全体会における資料3の八尾市総合計画審議会規則の第6条第4項において、「部会に副部会長を置き、部会長の指名する委員をもつてあてる。」と規定されております。

昨年度の総合計画審議会におきましても副会長としてご協力いただきました和泉委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、和泉副部会長から一言ご挨拶をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

和泉副部会長

阪南大学の和泉と申します。

前回に引き続きまして、和田先生と一緒に本審議会に関わらせていただきます。専門分野は観光や文化財であり、八尾市の活性化等に少しでも貢献できますように本審議会において尽力したいと考えております。

皆様どうぞよろしく願いいたします。

3. これまでの地方創生・総合戦略の経過について

和田部会長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第3. これまでの地方創生・総合戦略の経過について、事務局、ご説明をお願いします。

(資料1説明)

和田部会長

ただいま、「これまでの地方創生・総合戦略の経過について」を、事務局よりご説明いただきました。

こちらは審議を要するものでなく、新しく委員になられた方もおられるため、この後の議論に向け共通の認識を持つため、事務局より経過説明いただいたものと思います。

不明な点や確認したい点があれば、挙手をお願いいたします。

4. 令和4年度 第2期総合戦略の効果検証等について

和田部会長

それでは、次第4. 令和4年度 第2期総合戦略の効果検証等について、事務局、ご説明をお願いします。

(資料2、3説明)

ただいま、(1) 令和4年度 八尾市総合戦略の進捗と、(2) 令和4年度 企業版ふるさと納税の実績等についてまとめて事務局より説明がありました。

それでは、進捗管理・効果検証に移りたいと思います。指標の実績値や具体的な取り組みに関して評価できる点や改善すべき点、また、事務局の説明において不明な点や掘り下げたい点がありましたら単に質問でも構いませんので、ご意見あれば挙手をお願いいたします。

久保委員

資料2 基本目標1の「大阪重点犯罪認知件数」の指標に関連する取り組みとして、市役所1階にATMコーナーがありますが、高齢者を狙った特殊詐欺が多いということで、市長

の音声で注意喚起を行っており、我々も協力して取り組んでいます。

特殊詐欺はこれからも増えていくと思われますので、我々も協力して、また警察とも連携して防いでいきたいと思っています。

和田部会長

ありがとうございました。

委員の皆様がご所属の団体や企業の取り組みのPR、または八尾市と連携したいというお話でも結構ですので、ぜひこの機会に、ご紹介いただければと思います。

他いかがでしょうか。

和泉副部会長

基本目標3の施策KPI「学校に行くのは楽しい」と答えた児童・生徒の割合」について、達成状況の分析の欄には、学校に行くのが楽しいと答える背景として、学習面やクラブが挙げられていますけども、これは子供たちに理由を尋ねた結果、こういう答えが返ってきたということですか。

事務局

こちらの指標は、国が実施している全国学力学習状況調査の項目で、肯定的に答えた児童・生徒の割合を数値としています。

この指標の分析については、学習やクラブ活動等を通じた友達との関わりであるとか、授業内容の充実という点が影響しているといった見解として分析しています。

和泉副部会長

この指標の令和6年度目標値が87.5%、基本目標4の施策KPI「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合」の令和6年度目標値が39%と定められていますが、こういった指標は理想目標を掲げてもいいのではないかと思います。例えば女性委員の登用割合は50%以上でいいと思います。

目標値設定はどういった考え方で設定されているのでしょうか。

事務局

例えば、「学校に行くのは楽しい」の指標では令和元年度の実績値を基準値として設定していますが、基準値から令和6年度にどれくらいの数値に持っていきたいかを担当課にて検討しました。理想はもちろん100%ですが、そうすると正確な効果検証ができない恐れがあるため、こういった数値設定となっています。

また、「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合」は令和6年度目標値が39%となっていますが、これは国においても審議会委員の女性割合を2025年、令和7年度

までに40%以上を目標値としています。市もそれに準じて、令和7年度に40%というところをめざしていますが、八尾市総合戦略での目標年度は令和6年度となっていますので、39%を目標値として設定しているところです。

ただし、現在設定している指標が、成果を正確に測れているのかという課題はありますので、総合戦略の後期戦略の改定作業を行う際に、その指標のあり方について委員の皆様からご意見いただきながら、適切な指標を定めていきたいと考えています。

和田部会長

事務局ありがとうございます。

このように細かい点も含めまして、お気づきの点でどんどご意見をいただけたらと思います。

坂口委員

八尾市の総合戦略は若い世代をターゲットにしているとありますが、どれぐらいの年齢層を指してるんでしょうか。

事務局

この第2期八尾市人口ビジョン・総合戦略策定をすすめる際に、18歳から49歳以下の市民の方々にアンケート調査を当時行いました。その世代を中心に考えた総合戦略となっております。

野村委員

「学校に行くのは楽しい」の指標について、この多様化の時代に、学校に行くのは楽しいと感じる子どもたちが多いほうが良いという価値観はどうかと感じました。学校に行かないという選択もできる方がいいんじゃないかなと思います。

和田部会長

ありがとうございます。貴重なご指摘だと思います。KPIは時代とともに変化していくものと考えますが、これについてご意見をぜひいただきたいと思います。

和泉副部会長

野村委員が今おっしゃった通りだと思います。学校に行くのが楽しいといけないわけはありませんので、もちろんいじめなどの問題があって楽しくないっていうのは、大変問題だと思いますが、学校が楽しくないっていうのはそれ自体悪いことではないと思います。多様性のある社会に対応するということは、大人だけでなく、子どももそうだと思いますので、大変重要なご指摘だと思います。

和田部会長

ありがとうございます。事務局と教育委員会とでぜひ話し合っていたいただきたいと思います。

伊藤委員

基本目標 6 の「適切な土地利用が図られて暮らしやすいまちになっているかを感じる市民の割合」の指標で、「そう思う」という割合が 36.1%と低い数値となっています。

八尾市は、製造業がメインの産業で工場が比較的多く立地しており、その中で住宅もあるということで、住工共生が大きな課題になっていると思います。

そうした中、基本目標 5 の「立地制度活用による工業立地件数」の分析欄に記載があるように、近隣に事業用地となる土地がないという中では、人口の維持や産業の維持となると、どうしてもごちゃごちゃとしたまちづくりになってしまいがちだと思います。それが逆にまちの魅力を下げるといようなことになってしまうと思いますが、この課題に対して取り組んでいることがあれば教えてください。

事務局

住工混在につきましては、都市計画の観点からは例えば地区計画という都市計画制度の枠組みの中で検討しています。産業政策の観点では、工場の立地誘導を促進するような奨励金や補助金制度を設けたりしています。

今年度につきましては、緑化規制を緩和する特区申請を行い、工業立地を促進できるような環境づくりに努めているところでございます。

和田部会長

ありがとうございます。他はいかがでしょう。

和泉副部会長

基本目標 6 の K P I 「コト体験型ツアーの参加者の満足度」の実績値は素晴らしい数値だと思いますが、R6 年度の目標値が R4 年度実績値よりも低く設定されている点はどうなのかと思います。

また、14 事業を実施して延べ 142 名の参加となっていますが、14 事業の中で参加者が多い事業、少ない事業というのがあったかと思われます。

そういった実績を基に、今後の事業展開に活かしていったらよいのではないのでしょうか。

和田部会長

和泉副部会長のご意見に対して、事務局から回答をお願いいたします。

事務局

まず一つ目のご質問について、R4年度の実績値がR6年度目標値を超えている場合、このKPI以外にもいくつかそういった指標はあります。

R6年度目標値は、総合戦略を策定したR3年3月時点での最終目標値となっており、その最終目標値を毎年度変えていくことは、現在のところ考えてはいませんが、令和6年度中の改定作業の際に、皆様のご意見を踏まえながら、令和10年度に向けた目標値の見直しを行う予定としております。

二つ目のコト体験型ツアーの事業詳細につきましては、本日資料を持ち合わせていないので、何らかの形で、後日、委員の皆様へフィードバックできるように担当部局と調整を行います。

坂口委員

基本目標3の「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」について、年々実績が下がっているのが気になりました。その要因が資料に記載されていますが、理由としては本当にそれだけなのかなって思うところもあります。もしそうなのであれば、先ほどのコト体験型ツアーに児童向けの体験型ツアーを導入すれば、例えばものづくりの町を体験できるようなものであれば、将来八尾市のものづくりの現場で働いてみたいと思うことが増えるかもしれないので、基本目標の分野にこだわらずに基本目標同士をリンクさせて目標達成していくという考え方がいいのではないかと思います。

和田部会長

本当に重要なご指摘でした。基本目標同士の因果関係もあるので、そういう視点を取り入れていけるように、事務局よろしく願いいたします。

5. 令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について

和田部会長

それでは、次第5. 令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について、事務局、ご説明をお願いします。

(資料4 説明)

和田部会長

ただいま、令和4年度 交付金事業の取り組みについて、事務局より説明がありました。

それでは、進捗管理・効果検証に移りたいと思います。先ほどと同じく、指標の実績値や具体的な取り組みに関して評価できる点や改善すべき点、また、事務局の説明において不明

な点や掘り下げたい点がありましたら単に質問でも構いませんので、ご意見あれば挙手をお願いいたします。

野村委員

本事業では、京都芸術大学の学生さんや電通の方と一緒に商品開発ができたんですが、中小企業にとって、付加価値を高めるとか、ブランド力を上げるってすごく難しく、お客さんに手に取ってもらうためのパッケージのデザインってすごく大事なところですよ。

そういった自社ではなかなかできないところを、商品化に向けていろいろご意見いただきましたので、商品化がしやすくなるという点で良いプロジェクトだと思います。

和田部会長

ありがとうございます。市民目線でもっとPRをしてほしいといったご意見や感想でも結構ですがいかがでしょうか。

坂口委員

私はパッケージデザインのディレクターをやっていますので、こういう取り組みは学生さんの刺激にもなっていると思います。

ここまでは難しいかもしれませんが、こういうデザイン的な体験を子どもたちができれば楽しくなると思いました。

八尾がものづくりのまちっていうのを、八尾にずっと住んでいながら実はあまり知りませんでした。ものづくりのまちと言われたら、東大阪をイメージされることが多いですが、ものづくりって聞いたら、八尾市だと思ってもらえるようになってほしいと思います。

和田部会長

ありがとうございます。そういった機会がまさに大阪万博かもしれません。

他にご意見ありますでしょうか。

古河委員

私は旅行業に携わっているんですけど、先日旅博という年に1回の大きなイベントがあり、近隣では松原市や藤井寺市が参画していましたが、八尾市が参画していなかったのも、せっかくのアピールの場なのにもったいないと感じたんですけど、参画にあたってのルール等があるんでしょうか。

事務局

各種イベントに参画するにあたり、まず担当部署がそういった情報をキャッチすることが大事になります。

J Rが大々的に実施しているデスティネーションキャンペーンというものがあり、全国都道府県、1ヶ所ずつフューチャーして周っています。ちょうど万博開催の年に大阪が当たっており、今八尾市ではそれに合わせて全国から大阪へ人を集めるために、観光のコンテンツを蓄積してるところです。

和田部会長

他、いかがでしょうか。

野村委員

金平糖の製造と観光サービス業をしているんですけども、八尾市ではものづくりの支援には力を入れていますが、観光にももっと早期に力を入れて取り組まないといけなかったのではないかと思います。

黒木委員

観光について、私はものづくり自体が観光になり得ると思っています。博覧会協会から万博開催期間中にオープンファクトリーを行う事業者として選ばれると、博覧会協会がPRしてくれて、未来志向の製品を展示してそれを見に地元に来てもらう、あるいは万博終了後に持って帰って、月の石のように展示できます。金平糖もそうなんですけど、それ自体やはり観光になることが魅力だと思っています。

近隣の市町村よりも1人当たりの製造品出荷額高いというのが八尾の特徴であるので、八尾の魅力と組み合わせると、他がまねのできないコンテンツになると思います。

和田部会長

ありがとうございます。ご指摘の通り、産業がそのまま観光になるという産業観光の時代でもありますので、その辺も組み合わせで欲張っていけるのが八尾ではないかと思います。

和泉副部会長

委員の皆さんのおっしゃる通りだと思います。地域魅力は観光や教育力のような多面性があるので、それぞれの魅力をつなげていけるような、そういうところを整理していく必要があるかと思います。

先ほどツーリズムEXPOのお話がありましたが、イベントに出展しようとする、八尾にはどんな魅力があって、こんなところが見れる、見せられるということが自分たちで整理できることにもつながります。

ぜひ今後そういうイベントに参画して行って欲しいなと思います。

和田部会長

ありがとうございました。

最後に、全体を通してこれだけは言っておきたいということがあればどうぞ。

高島委員

先ほどおっしゃってた産業観光ですけども、私はファクトリズムで事務局をしています。ファクトリズムにはいろんな自治体が参画していますが、他市の方から八尾市は協力的ですごくうらやましいというふうによく言われます。

ただ、私たちはとても頑張って発信しているつもりですが、例えばリノアスの 8 階で会議をやっていますが、リノアスの従業員の 10%もファクトリズムを知らなかったという事実があります。

せっかくのオープンファクトリーなので、もっと事務局として多くの人に知ってもらいたいと感じました。

和田部会長

どうもありがとうございます。

それでは、本日、皆様からご意見いただきました内容を踏まえ、部会長、副部会長と事務局とで調整し、効果検証の内容をまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

異議なしとの声をいただきましたので、事務局とまとめてまいります。

以上をもちまして、議事はすべて終了いたしましたので、事務局に議事進行をお返しします。

事務局

皆様どうもありがとうございました。

皆様のご見識に基づき、様々な貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

本日の内容を踏まえまして、今後の本市における地方創生総合戦略の推進に生かして参ります。

それでは閉会にあたりまして、理事の一ノ本よりご挨拶申し上げます。

一ノ本政策企画部理事

本日は総合計画の審議会の全体会に引き続きまして、この総合戦略部会の方にご出席いただき、また様々な貴重なご意見をいただきまして厚く御礼を申し上げます。

今回の総合戦略部会につきましては、令和 4 年度における各種取り組みの結果に対する

効果検証につきまして、委員皆様の様々な視点から、非常に示唆に富んだご意見を頂戴できたと考えています。

本日いただきました貴重なご意見につきましては、また今後の取り組みに、しっかりと活かして参りたいというふうに考えてございますので、引き続きよろしく願いいたします。皆様、ありがとうございました。

事務局

それでは以上をもちまして、八尾市総合計画審議会 第 1 回総合戦略部会を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。